

おふなだより

神奈川県立大船高等学校
校長通信 1月号
校長 富樫 由里子
令和2年1月28日

大寒が過ぎ立春も間近ですが、寒さはこれからが本番。3年生は大学入試センター試験が終わり、31日から計画登校に入ります。受験日が続く生徒も多いようです。自分のペースを崩さず、これまでの勉強の成果を解答用紙にぶつけてほしいと思います。

先日、「かつて現代文の試験では間違ったことがほとんどなかった」という男性の「現代文は筆者や作者の意図が問われていると勘違いしてはいけない、出題者になったつもりでその意図をイメージすれば、おのずと『正解』は見えてくる」という言葉を目にしました。

「自分」をいったんカッコに入れ、出題者の思考をなぞるような気持ちで問題に当たると、景色が違って見えてくるかもしれません。ペーパーテストであってもコミュニケーション力が問われているわけですね。

現2年生の大学入試については、大学入試英語成績提供システム導入見送りや大学入学共通テストにおける記述式問題の導入見送りなど、数カ月前とは異なる状況になってきています。ただ、現3年生でも各大学で英語の資格・検定試験を活用して受験する生徒は増加しています。令和3年度からの大学入試についての情報を提供する文部科学省の次のサイトや、

<https://www.mext.go.jp/nyushi/#katsuyou>

1月15日に第1回が行われた「大学入試のあり方に関する検討会議」の内容

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/103/gijiroku/mext_00148.html

などにも注目し、タイムリーに指導を継続していきたいと思います。

さて、22日に鎌倉湘南地区の探究活動発表会が藤沢西高校で行われました。この日は8校から13のグループが参加、本校からは大木あかりさんと井上楓菜さんが「人間観光モニタリング」というタイトルで、総合的な探究の時間で行った鎌倉散策とその後のまとめをもとにした発表を行いました。残念ながら私は所用で出席できなかったのですが、他校の校長からは「聞いている人を引き込む、エンパシーを感じるすばらしい発表だった」という評価をいただきました。以下は出席したふたりの感想です。「とてもいい経験になった。自分のやってきたことを正確に伝えるということより、聞き手がどうやったら自分たちの発表内容で興味をもってくれるかを工夫することが大事。作文や論文でなく発表なので、聞き手を退屈にしまうのは一番ダメなことだと感じた」「自分の考えを伝える時には根拠があると説得力が増す。根拠を大切に自分の意見を言うようにしたい。観客を巻き込む参加型の発表だと楽しんで聞いてくれる。協働の面白さを知ることができた。貴重な機会をいただき、成長できた」



★欠席等の電話連絡は各学年にお願いします。

1 学年 0467-47-2374 2 学年 0467-47-2375 3 学年 0467-47-2376

★本校ホームページもご覧ください。 <https://www.pen-kanagawa.ed.jp/ofuna-h/>

4月からホームページが新しくなっています。



◆部活動などの結果とお知らせなど

県高総文祭総合閉会式が終了しました

県高校総合文化祭総合閉会式が1月19日県立青少年センターで行われ、生徒会役員が運営補助を務めました。



ウェイトリフティング同好会

3名が1月11日に行われた関東選抜大会に出場しました。いずれも自己ベストを更新する結果を出しました。

男子バスケットボール部

県新人大会に出場。1月12日の1回戦では大和高校に81対62で勝利、2回戦は湘南学園に55対76で残念ながら敗れました。



定期演奏会のお知らせ

♪吹奏楽部

日時 2月2日(日)
14時30分開場 15時開演
会場 鎌倉芸術館



♪合唱部

日時 3月19日(木)
18時開場 18時30分開演
会場 茅ヶ崎市民文化会館



合唱部は地域の老人ホームでの演奏活動など、地域への貢献活動が評価され、「県立学校の児童・生徒表彰」の受賞が決まりました。

男子剣道部

1月19日に行われた選抜大会県代表選考会でベスト8の成績を収めました。

ダンス部

1月25日、海老名市文化会館で県新人大会が行われ、1、2年生34名が参加しました。写真はリハーサルの様子です



三戸先生が受賞

令和元年度文部科学大臣優秀教職員に英語科の三戸若菜先生選ばれ、1月14日に都内で行われた表彰式に出席しました。おめでとうございます。



★「こぶねだより」はホームページに掲載するとともに、保護者の皆様にはプリントで配布していましたが、すでにお伝えしているように、12月号から、マチコミによる発行のお知らせに変更しております。

★神奈川県教育委員会では教育のICT化を進めており、すべての高校に学習用のタッチパネル機能付きノートPC82台が配備されるとともに、BYODを可能にするWi-Fi環境が全HRに整備されました。この環境を活用していくことに関する保護者の皆様へのお知らせを、12月23日にマチコミで配信しました。学校では生徒のデバイス(スマートフォン、タブレットなど)の登録作業を進めていますが、「校門に入るときにスマートフォン等の電源を切ってカバンにしまう」というルールは変わりません。あくまでも学習活動の質の向上を目的とし、授業中に教科担当教員指導の下で学びのツールとしての使用に限定されていますので、ご家庭でもご理解をお願いいたします。